

令和 2 年産水稲の作付面積及び 9 月 15 日現在における作柄概況 (香川県)

【調査結果の概要】

1 作付面積

令和 2 年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）は 1 万 1,900ha で、前年産に比べ 400ha（3%）の減少が見込まれます。

なお、水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）から、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付見込面積は 1 万 1,600ha で、前年産に比べ 400 ha（3%）の減少が見込まれます。

2 作柄概況

穂数は、7 月の日照不足の影響により分けつが抑制され「少ない」となりました。1 穂当たりもみ数は、減数分裂期にあたる 8 月中旬が高温・多照で経過したことに加え、穂数が少ないことによる*補償作用により「多い」となりました。この結果、全もみ数（穂数×1 穂当たりもみ数）は「平年並み」となりました。

登熟は、8 月中旬以降、高温・多照で経過していることから「やや良」と見込まれます。

以上のことから、香川県の 10 a 当たり予想収量は 511kg で、前年産に比べ 40kg の増加が見込まれます。

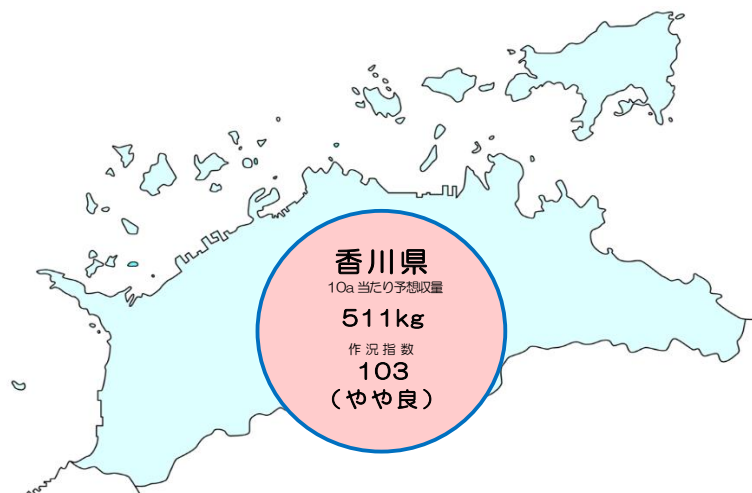
また、農家等が使用しているふるい目幅（香川県は 1.80mm）以上に選別された玄米を基に算出した 作況指数は 103（やや良） が見込まれます。

※「補償作用」とは、水稲では一つの収量構成要素が減少すると、それを補うために他の要素が増加し、全体としてのバランスを取ろうとすることをいいます。

3 予想収穫量（主食用）

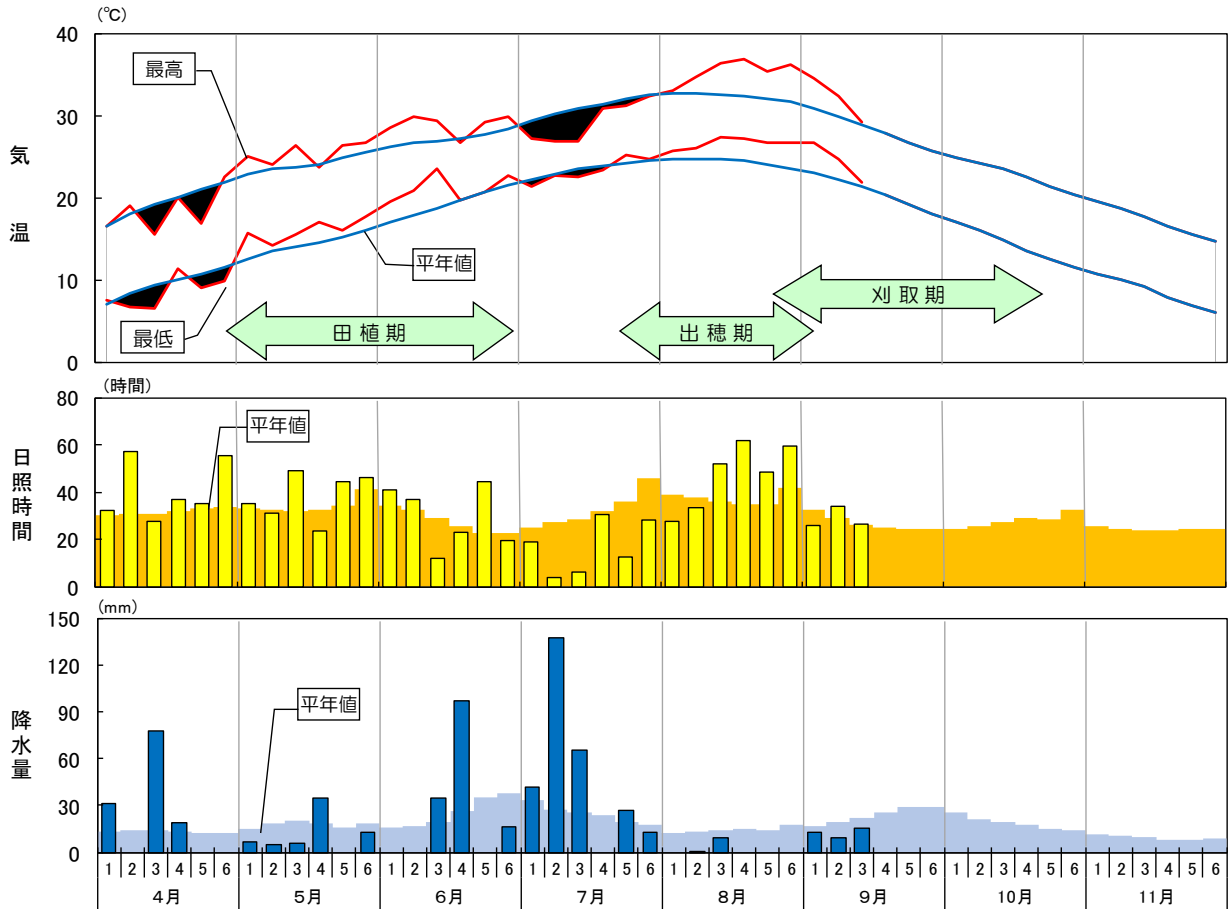
主食用作付見込面積に 10 a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は、5 万 9,300 t で、前年産に比べ 2,800 t（5%）の増加が見込まれます。

図 10 a 当たり予想収量及び作況指数（9 月 15 日現在）



◎半旬別気象図

高松市の気象図



気象庁「アメダス」を基に作成

本資料は、「令和2年産水稲の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（中国地域・四国地域）」の補足資料です。統計表や調査の概要等は、同資料をご覧ください。

お問い合わせ先

中国四国農政局 香川県拠点 統計チーム

担当： 仙波、細谷

電話：087-883-6501

FAX：087-883-6505